

## 第3 企画研修係



精神保健福祉相談技術研修

対 象	日程	内容・講師等	参 加 人 数
精神保健福祉 相談に従事し ている新任の 保健師・相談 員等	7/9 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患と治療について 県こころの健康センター所長 赤田 卓志朗</li> <li>・地域精神保健福祉相談の進め方と実際(相談の視点) 県こころの健康センター技師長 後藤 清乃</li> <li>・精神障害者の福祉 県障害政策課精神保健室次長 荒木 淳子</li> </ul>	31
	7/16 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県における精神科救急情報センターの活動の実際 県こころの健康センター主幹(係長)田仲 富美子</li> <li>・こころの健康センターの相談業務について 県こころの健康センター次長 川島 佐枝子</li> <li>・演習「地域精神保健福祉相談の進め方と実際」 県こころの健康センター 職員(保健師)</li> </ul>	31  延 62

精神保健福祉相談技術研修

対 象	日程	内容・講師等	参 加 人 数
精神保健福祉 相談に従事し ている保健師 等	12/1 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討 参加者から事前提出された処遇困難事例(6例)について、参加者及び従事者全員で問題点の確認や意見交換し、今後の支援方法等について検討。 県こころの健康センター医長 相原 雅子 " 職員(保健師)</li> </ul>	6

## 2 広報普及活動

### (1) 事業の目的

県民に対し、精神保健福祉に関する正しい知識の普及を図るため、各種の事業や広報媒体を通じ、全県的規模で広報普及活動を実施した。

### (2) 事業の実績

#### 1) 「こころの相談Q & A」の新聞掲載

電話相談や来所相談で相談の多い事例について、毎月第2、第4月曜日に上毛新聞の「生活」面に掲載した。

掲載月	テ　　マ	
4月	・時間かけ心の整理を	・子供に愛情持てず
5月	・生きがいを探して	・「家族会」に参加して
6月	・病気認め、責めない	・SOS、見過ごさず
7月	・原因考えて対応を	・病状のつらさ共有を
8月	・早めに精神科受診を	
9月	・周りで気付き自殺予防	・同じ行為を繰り返す
10月	・典型的症状と違い	
11月	・処方量なら大丈夫	
12月	・困難ならば断る	
1月	・処遇改善など請求可能	・自助グループ利用を
2月		
3月	・飲酒多量なら相談を ・受診へ説得が大切	・主治医の判断を

#### 2) 啓発事業の実施

地域での集会や関係機関・団体等で催される研修会・講演会に講師を派遣し、精神保健福祉に関する正しい知識の普及に努めた。

##### 派遣先別

講師派遣先団体等	講師派遣数 (回)	受講者数 (人)	備　　考
保健福祉事務所	12	92	
市町村	8	710	渋川市他
関係団体	3	80	太田市社協他
計	23	882	

テーマ別

テ - マ	講師派遣数 (回)	受講者数 (人)	派遣講師の職種
メンタルヘルス	5	1 5 5	医師
精神保健福祉一般	6	1 1 5	医師
薬物・アルコール依存症	8	4 2	医師
児童思春期	2	3 5 0	医師
脳の健康チェック等	1	2 0 0	保健師
こころの相談の概要	1	2 0	保健師
計	2 3	8 8 2	

3) ホームページ

当センターの事業の紹介や案内、統計資料の公表をホームページにより行った。

4) ビデオテープ・図書等の貸出(貸し出し不可の書籍等も含む)

ビデオテープ・DVD 全本数 1 7 3 本

蔵 書 全冊数 1 , 1 1 0 冊

### 3 心の健康づくり事業

#### (1) 事業の目的

現代社会が抱える精神保健福祉に関わる諸問題をわかりやすく取り上げ、県民に対する精神保健福祉の知識の普及や意識の高揚を図るため、昨年度に引き続き「こころの県民講座」を開催した。

#### (2) 開催状況

- 1) テーマ 「眠れていますか? ~心地よい睡眠を取り戻すために~」  
期 日 平成21年12月19日(土)  
会 場 群馬会館 ホール  
講 師 樋口 輝彦(国立精神・神経センター総長)  
参加者 267名
  
- 2) テーマ 「発達障害から発達凸凹へ」  
期 日 平成21年10月18日(日)  
会 場 群馬県立県民健康科学大学 大講義室  
講 師 杉山 登志郎  
(あいち小児保健医療総合センター心療科部長兼保健センター長)  
参加者 310名

## 4 もの忘れ検診事業

### (1) 事業の内容

もの忘れ検診事業は、平成13年度から認知症の早期発見と早期診断・治療のネットワークの構築を目的に、「群馬県もの忘れ検診プロジェクト委員会」(県医師会、群馬大学、県介護高齢課、こころの健康センター)により開始され、こころの健康センターが協力し、市町村で行う「集団検診」と、医師会が行う「個別検診」が、「モデル事業」としてスタートした。

平成17年度からは、「群馬県在宅要援護者総合支援事業の特別支援事業である認知症予防対策事業」として県単独の補助事業となり市町村が実施できるようになった。

こころの健康センターは、実施市町村への技術支援を行っている。

### (2) 事業の実績

#### 1) 市町村支援(平成21年度みどり市もの忘れ検診の実施状況)

	みどり市			合計 (人)
	大間々町 (人)	笠懸町 (人)	東町 (人)	
脳の健康度チェック被験者	939	748	325	2,012
MMSE 被験者(率)	118	127	54	299(14.9%)
MMSE 陽性者(率)	29	12	17	58(2.9%)
1)異常なし	13	6	8	27
2)かかりつけ医での経過観察	13	2	6	21
3)専門医にて要精検(率)	3	4	3	10
A D	1	1	1	3
A D 疑い	1	2	0	3
その他	0	0	0	0
未受診等	1	1	2	4
経過観察	0	0	0	0

(注) A Dはアルツハイマー型認知症の略

## 2) 研修事業

認知症患者数が2035年には376万人に上るという厚生労働省予測を踏まえ、認知症の相談や診断を行う医療機関が必要となる。そのため全国に先駆けて、平成14年度から群馬県医師会・群馬県介護高齢課と共催で、医療機関に協力を要請して専門医の数を増やすと共に、認知症の鑑別診断や治療技術の向上を図る目的で、研修会を開催している。

### もの忘れ検診鑑別診断専門医研修（群馬県認知症疾患研修会）

対象	日程	内容・講師等	参加人数
医師 (専門医)	22年 1/30(土)	「群馬県もの忘れ検診の現状と意義」 群馬県医師会理事 川島 崇 「レビー小体型認知症の診断と治療-最近の知見から-」 筑波大学大学院 人間総合研究科精神病態医学准教授 水上 勝義 「高次機能からみた認知症の諸問題」 昭和大学医学部精神医学教室准教授 三村 将 「認知症高齢者対策について」 群馬県健康福祉部介護高齢課次長 羽鳥 光博	128

### かかりつけ医研修（もの忘れ研修事業研修会）

対象	日程	内容・講師等	参加人数
医師 医療保健福 祉関係者等	22年 2/27(土)	「群馬県もの忘れ検診の現状と意義」 群馬県医師会理事 川島 崇 「認知症の方を在宅で診る-往診の実際-」 いきいきクリニック院長 田中 志子 「もの忘れ外来と認知症について」 獨協医科大学神経内科准教授 田中 秀明 「認知症高齢者対策について」 群馬県健康福祉部介護高齢課次長 羽鳥 光博	169

## 5 若年認知症家族支援

### (1) 事業の目的

若年認知症は、治療法が確立されておらず、働き盛りで発症するため、当事者や家族の心理的落ち込みはもちろん、収入の途絶や家事や子育て等の問題も生じる。また、介護保険が利用可能であっても、施設側にとって受け入れが難しいことや当事者が高齢者施設になじめない等の問題があるため、家族は情報も乏しく孤立しがちとなっている。このため、当事業は相談や家族の交流の場を設けることにより、家族の孤立や、介護で燃えつきることを防止し、生活の質の向上を図ることを目的としている。

### (2) 事業の実績

#### 1) 家族会支援

若年認知症ぐんま家族会（設立：平成18年6月28日）  
月1回第3月曜日に開催。

スタッフ：精神科医師、保健師2名、家族会賛助会員、ボランティア（介護支援専門員・社会保険労務士・看護師）

内 容：ミニ講話、学習会、家族・当事者フリートーク、個別相談

月 日	内 容	人 数	備 考
H21.4.22	役員会（平成21年度事業について）	9	
H21.5.18	H21年度総会 講演「若年認知症対策の動向について」 南魚沼市立ゆきぐに大和病院長 宮永 和夫	40	
H21.6.15	役員会、交流会	25	
H21.8.17	学習会「介護保険の使い方」 桐生市南包括支援センター 河村 俊一 交流会	23	
H21.10.19	交流会、毎日介護賞受賞報告	26	
H21.11.16	学習会「障害年金の申請について」 社会保険労務士 前田 良子 交流会	18	
H21.12.21	学習会「生活福祉貸付制度について」 県社会福祉協議会 藤森 孝弘	16	
H22.1.18	交流会（毎日介護賞受賞記念）	32	
H22.2.15	交流会、来年度事業計画について	15	
H22.2.23	全国若年認知症家族の集い参加	3	
H22.3.15	交流会 全国若年認知症家族の集い参加報告	19	

「若年認知症ぐんま家族会だより」の発行 1回

家族会の普及啓発活動

H21.10.9 第7回小規模多機能・グループホーム大会における講師(大沢)

H21.10.10 若年認知症専門研修会(認知症サポートセンター)における講師(大沢)

H22.2.20 認知症介護サポート研修(介護研修センター)における講師(大沢)

## 2) 若年認知症相談

来所相談：月1回第3木曜日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	1	2	2		2		1	0	0	1	1	1

## 6 関係機関との連絡協調及び組織の育成

### (1) 事業の目的

精神保健福祉の向上を目的に、関係機関との連絡協調及び組織の育成に努めた。

### (2) 関係機関との連絡協調

#### 1) 精神保健福祉活動推進会議

関係機関との連携と地域精神保健福祉活動の充実を図るため、推進会議を開催した。

#### 会議構成員

伊勢崎保健福祉事務所、中央児童相談所、発達障害者支援センター、女性相談所、精神障害者援護寮、心身障害者福祉センター、小児医療センター、精神医療センター、総合教育センター、県警察本部広報広聴課警察安全相談室、前橋公共職業安定所、群馬障害者職業センター、前橋市障害福祉課、群馬県社会福祉協議会、日本精神科病院協会群馬県支部、群馬県精神保健福祉協会、群馬県精神障害者家族会連合会、群馬県精神障害者社会復帰協議会、群馬県臨床心理士会、群馬県障害政策課精神保健室、こころの健康センター

計 21 機関

#### 活動内容

開催年月日	会 議 事 項
H21.11.12	こころの健康センターの事業概要について 各所属での取組について 情報・意見交換及び要望等について

### (3) 組織の育成

#### 1) 群馬県精神障害者家族会連合会（通称 群馬つつじ会）への支援

群馬県精神障害者家族会連合会は、県内の各家族会の連合会として昭和62年6月に発足し、群馬県内の精神障害者の社会復帰、医療、福祉及び社会的理解の向上を図るための地区家族会活動との連携や、また、家族同士が支え合い語りあうことや障害特性・制度等の学習を通じて会員への啓発や交流を図っている。

#### 支援内容

毎月、開催している役員会（理事会、常任理事会）において、家族会運営や事業企画等への助言を行った。

県内家族会 17家族会 会員数467人

平成22年3月31日現在

会の名称	事務局所在地	会員	設立年月
あゆみ会	伊勢崎市東町2657 あゆみ作業所	10	昭 41. 4
やよい会	伊勢崎市境女塚2883-12 福祉会館	27	昭 48. 4
ひとつばな会	甘楽郡南牧村大字大日向1098 南牧村役場	4	昭 53.11
のびる会	伊勢崎市国定町2-2374 県立精神医療センター	40	昭 61. 5
ひまわりの会	太田市長手町26 麦の家	20	昭 61. 5
ポプラの会	高崎市内 (会長宅)	60	昭 63. 4
たけのこ会	館林市大街道1-2-5 地域生活支援センター若草	57	平 2. 3
プラムの会	安中市中宿124-15 地域生活支援センターヌアリーベ	5	平 2. 5
いずみ会	渋川市渋川113-8 障害者センター	35	平 4. 4
よつば会	伊勢崎市下植木町499 伊勢崎保健福祉事務所	8	平 6. 7
わたらせ虹の会	桐生市元宿町9-38 虹の作業所	42	平 7.12
あざみ会	前橋市日輪寺町176-1 地域生活支援センターピアーズ	75	平 8. 4
あおぞら会	沼田市東原新町1801-40 あおぞら作業所	31	平 8. 5
もみじ会	富岡市七日市356-1 プレパレ	18	平 10.10
しらかば会	中之条町五反田3891 しらかば作業所	11	平 11. 3
みさと会	高崎市箕郷町西明屋1030-6 みさと会	11	平 16. 6
冬櫻会	藤岡市中栗須327 藤岡市福祉課	13	平 21. 4

群馬県精神障害者家族会連合会の主な活動

月	活 動 内 容	備 考
5月	・第23回定期総会	場所：群馬県勤労福祉センター 出席者：76名
10月	第1回家族相談会開催 (館林管内：相談件数 18件)	場所：館林保健福祉事務所
11月	家族会関東ブロック精神保健福祉促進研修会 講演 「精神に障害のある人が安心して暮らせるために」 東洋大学教授 小澤 温 シンポジウム コーディネーター：こころの健康センター所長 赤田 卓志朗 パネラー：当事者、家族会、施設運営者、行政関係	場所：群馬県社会福祉総合センター 出席者：270名
12月	障害者作品展協力	県庁1階県民ホール
22年 1月	リーダー研修会開催 講演 「精神科医療と当事者および家族支援」について 榛名病院院長 長谷川 憲一 「群馬つつじ会だより 第20号」発行	場所：前橋市総合福祉会館 出席者：43名
2月	第2回家族相談会開催 (桐生管内：相談件数 12件)	場所：桐生保健福祉会館

2) 群馬県精神保健福祉ボランティア連絡協議会（通称 東風の会）への支援

群馬県精神保健福祉ボランティア連絡協議会は、県内のボランティアグループの連合組織として平成17年4月に発足した。精神保健福祉の向上に寄与するため、各地域での精神保健福祉活動に対し、関係機関との連携を図りながらボランティア活動を展開している。

支援内容

平成20年度以降は、障害者自律支援法でボランティア養成が市町村の業務として位置づけられていることと東風の会の活動も定着化してきたことから当センターの直接的な支援は終了し、講師派遣や研修会での支援を行った。

県内精神保健福祉ボランティアグループ 10グループ 会員数243人  
平成22年3月31日現在

グループの名称	事務局所在地	会員	設立年月
こぶしの会	太田市西本町41-34 太田保健福祉事務所	19	平5.4
たんぽぽの会	渋川市金井394 渋川保健福祉事務所	24	平11.4
吾妻郡精神保健ボランティア連絡協議会一本の手	吾妻郡中之条町内(会長宅)	24	平12.4
やまびこの会	伊勢崎市東町2668-1 伊勢崎市地域包括支援センター	18	平12.4
やよい会	高崎市内(会長宅)	42	平14.4
れんがの会	富岡市田島343-1 富岡保健福祉事務所	9	平15.4
めぶきの会	藤岡市下戸塚2-5 藤岡保健福祉事務所	17	平17.4
そよ風	伊勢崎市境上武士972-1 伊勢崎市社会福祉協議会境支所	28	平18.7
まゆだま	沼田市内(会長宅)	17	平19.5
ひだまり	館林市苗木町2452-1 館林市社会福祉協議会	45	平20.4

### 3) 精神保健福祉協会との連携

群馬県精神保健福祉協会は、群馬大学を中心として設立準備が進められ、関係団体の意見交換を経て、平成14年3月26日に設立された。当協会は、県民の精神保健福祉の向上を図ることを目的に、県民と地域社会の「こころの健康づくり」の推進をめざし、精神保健福祉に関する知識の普及・啓発、情報の収集・発信、精神障害者への理解を深めるための活動及び精神障害者の社会参加の推進など、会員の幅広い人材を活かした活動を行っている。こころの健康センターでは、各種事業の運営等支援を行っている。平成21年度の主な活動内容は下表のとおりである。

会員 団体会員：49団体 個人会員：190人（平成22年3月31日現在）

#### 活動内容

月	活 動 内 容	備 考
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回理事会</li> <li>・定期総会</li> <li>・講演会及びシンポジウム               <ul style="list-style-type: none"> <li>講 演：「リカバリーを応援する」</li> <li>講 師：日本福祉大学社会福祉学部 教授 野中 猛</li> <li>テーマ：「当事者の思いを語る」</li> <li>座 長：日本福祉大学社会福祉学部 教授 野中 猛</li> <li>発表者：当事者 3名</li> </ul> </li> </ul>	県勤労福祉センター
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第9回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技(精神障害者部門)関東ブロック予選会</li> </ul>	ふれあいスポーツプラザほか
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回心の輝きスポーツ大会(バレーボール競技)</li> </ul>	ぐんまアリーナ
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回理事会</li> <li>・こころのふれあい・バザー展</li> <li>講演会、リズム体操、室内楽演奏、スポーツチャンバラ、展示・販売会</li> <li>&lt;講演会&gt;               <ul style="list-style-type: none"> <li>講 演：「自殺したらあかん！～東尋坊のちょっと待ておじさんからのメッセージ～」</li> <li>講 師：茂 幸雄</li> </ul> </li> <li>・第1回「こころの電話相談」</li> </ul>	県庁県民ホールほか

月	活 動 内 容	備 考
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報・普及担当理事会</li> <li>・ 第56回精神保健シンポジウム(前橋)</li> <li style="padding-left: 20px;">内 容：「中小企業におけるメンタルヘルスとそれをめぐる諸課題」</li> <li style="padding-left: 20px;">座 長：群馬大学大学院神経精神医学分野 教授 三國 雅彦</li> </ul>	群馬会館ホール
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回「こころの電話相談」</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「群馬県精神保健福祉協会だより」第13号発行</li> </ul>	500部
22年 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第23回こころの県民講座</li> <li style="padding-left: 20px;">講演会：「眠れていますか？～心地よい睡眠を取り戻すために～」</li> <li style="padding-left: 20px;">講 師：国立精神・神経センター総長 樋口 輝彦</li> <li>・ 第3回「こころの電話相談」</li> </ul>	群馬会館ホール
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回理事会</li> <li>・ ふれあいフェスティバル研修会(シンポジウム)</li> <li style="padding-left: 20px;">テーマ：「早期支援はアクセスが肝～子供から高齢者までのメンタルヘルス～」</li> <li style="padding-left: 20px;">シンポジスト：(財)榛名病院 院長 長谷川 憲一 発達障害者支援センター 所長 安田 淑美 こころの健康センター 所長 赤田 卓志朗</li> <li>・ 協会機関誌第14号発行</li> </ul>	<p>県庁会議室</p> <p>500部</p>

\* こころの県民講座は、群馬県精神保健福祉協会と群馬県こころの健康センターとの共催事業。